

卒業必修	保育士必修	幼稚園教諭必修	選択
授業科目名： 日本語表現Ⅱ ナンバリング：1004		単位数：1単位 (半期) 演習	担当教員名：山畑昭司 担当形態：単独
授業の到達目標及びテーマ			
1. 「話す」「聞く」「書く」「読む」を中心に、保育にかかわる実践的な日本語力を身につけることができる。 2. 保育者として必要な文章の書き方や表現の基本的事項について学び、他者に伝わる文章を書くことができる。 3. 漢字、敬語、文法、文章表現について、保育者として必要な力を身に付けることができる。			
授業の概要			
保育者に求められる「他者が読んで分かりやすい文章の書き方」や、発声・発音の仕方等について演習し、様々な観点から保育者に求められる日本語力を高める。			
授業計画		授業時間外の学習	
第1回：オリエンテーション、幼稚園前半実習の振り返り 第2回：漢字・慣用句にチャレンジ、実習日誌からの漢字50 第3回：漢字・慣用句・四字熟語テスト、課題レポートの書き方 第4回：漢字テスト①、誤りやすい用字用語・慣用句を正しく書く 第5回：漢字テスト②、読み聞かせの基本、読み聞かせ実践練習 第6回：連絡帳やお便り帳の書き方（事実と意見を区別して書く） 第7回：否定的・肯定的な言い方、否定語を肯定語に（1） 第8回：否定語を肯定語に（2）、実習日誌からの漢字80 第9回：漢字テスト③、誤りやすい言葉（ら抜き言葉など） 第10回：漢字テスト④、敬語・言葉の使い方 第11回：尊敬語・謙譲語の練習、事実と意見を区別して書く 第12回：話し言葉を書き言葉に直す 第13回：実習審査日本語表現テスト 第14回：実習日誌の振り返り 第15回：復習とまとめ 定期試験：筆記		<毎回1時間程度> ・復習を兼ねた、小テスト（漢字テスト）のための学習 ・相互読み聞かせの練習	
授業の方法			
講義と演習（ディスカッション・グループ活動）を組み合わせて行う。 小テストや授業後に提出するプリントをチェックする。			
テキスト 『保育者になるための国語表現』 田上貞一郎著，萌文書林			
参考書・参考資料等			
適宜プリントを配布する。			
学生に対する評価			
提出物(小テスト含む)・発表(40%)、試験(60%)を判断し、ルーブリックを活用して評価する。			
履修上の注意			
・主体的に学習に臨むこと。 ・授業の最初に読み聞かせを行う。担当学生は必ず下読みをして準備すること。			
実務経験の有無	有	実務経験	元公立中学校国語科教諭 元県教育局教育事務所国語科担当指導主事
実務経験を活かした教育内容			
国語科教諭の経験を活かして、学生の実態に合わせた分かりやすい指導で、日本語力の向上を図る。			